

鉄道技術センターの設置について

～鉄道建設に関する技術力を強化する体制をつくります～

鉄道・運輸機構（JR TT）は、「明日を担う交通ネットワークづくりに貢献する」という基本理念のもと、わが国唯一の鉄道建設に係る公的な技術者集団として新幹線や都市鉄道の整備など、わが国の鉄道網の充実に貢献してきました。

この度、鉄道建設に関する技術力を強化する体制を構築するため、令和6年4月1日付けで鉄道技術センターを新たに設置いたします。また、鉄道技術センターに常駐し、鉄道に関する技術系統全体を俯瞰した技術マネジメントを実施する鉄道技術統括役を同日付けで新たに設置します。

<鉄道技術センターが目指すこと>

○**鉄道建設に関する専門技術の結集により、更なる鉄道建設技術の向上を目指します**

鉄道・運輸機構（JR TT）がこれまで培ってきた専門分野毎の技術（土木、設備、電気）を結集することにより、鉄道・運輸機構（JR TT）が推進する鉄道建設プロジェクトを通じた更なる鉄道建設技術の向上を目指します。

○**鉄道“建設”技術から“鉄道技術”へ、技術力のスパイラルアップを実現します**

更なる鉄道建設技術の向上に加え、鉄道施設のライフサイクル（調査、計画、設計、施工、維持管理）を通じた鉄道技術を一元的に担うことで、時代のニーズに対応した鉄道システムの構築に貢献することも目指し、鉄道建設技術から鉄道技術へのスパイラルアップを実現します。

○**わが国の鉄道技術のプラットフォームとなることを目指します**

「鉄道建設に関する専門技術の結集」、「鉄道建設技術から鉄道技術へのスパイラルアップ」に支えられた鉄道・運輸機構（JR TT）の鉄道建設に関する技術力を活かし、わが国の鉄道に対する社会的要請に応えた鉄道技術の提案ができる鉄道技術のプラットフォームとなることを目指します。

<本件に関するお問合せ先>

経営企画部 広報戦略課 樋口・横山

TEL 045-222-9101



～JR TT は設立 20 周年を迎えました～

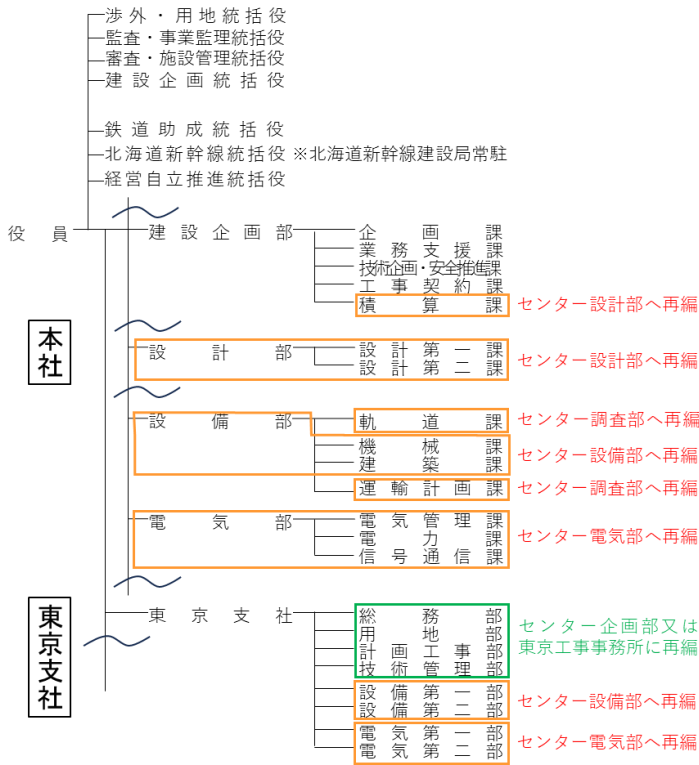
参考資料:鉄道技術センター組織図と主な業務内容

【設置日】 令和6年4月1日

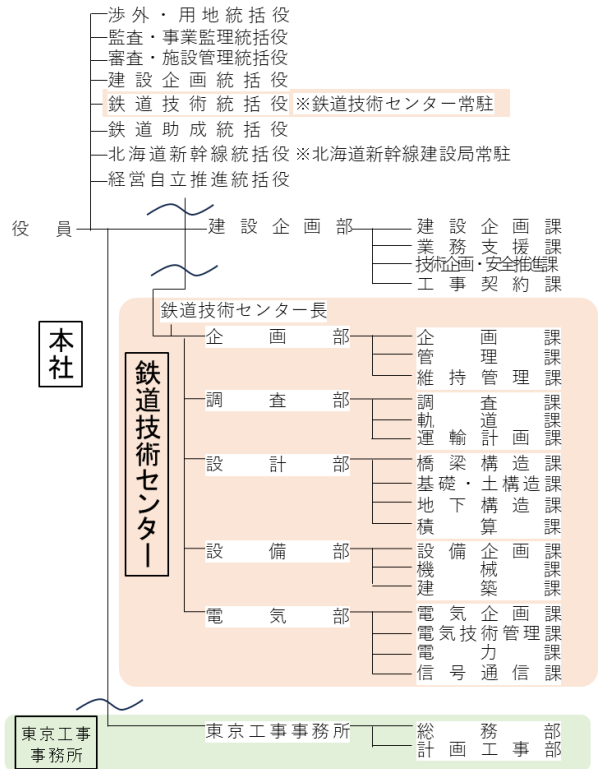
【所在地】 東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビル B 館

【職員数】 250名程度を予定

● 現在の組織



● 再編後(R6年度)



【鉄道技術センター各部の主な業務内容】

- 企画部（企画課、管理課、維持管理課）
組織横断的な調整・取りまとめ、技術マネジメントの統括、技術情報の収集、新たな技術開発の推進、技術基準類の一元管理を担う。
- 調査部（調査課、軌道課、運輸計画課）
新線建設調査における企画及び立案の実施、鉄道災害調査隊の実働部隊として鉄軌道事業者等の支援を担う。
- 設計部（橋梁構造課、基礎・土構造課、地下構造課、積算課）
鉄道施設の各種構造に関する技術開発及び研究を担う。
- 設備部（設備企画課、機械課、建築課）
機械設備及び駅工事等に関する技術開発及び研究を担う。
- 電気部（電気企画課、電気技術管理課、電力課、信号通信課）
電気設備に関する技術開発及び研究を担う。

※本社関係各部と東京支社の機能を鉄道技術センターに再編することに伴い、令和6年3月31日付けで東京支社を廃止します。

また、主に神奈川東部方面線の残工事に対応する組織として東京工事事務所を新たに設置します。